



戦後から変わらず続く伝統 前橋まつりが華やかに

● 前橋まつり実施委員会 ☎027-234-5109
当日は実施本部 ☎027-232-9711

戦後の復興祭として始まり、市民の祭りとして発展し続けてきた前橋まつり。今年も10月7日(土)・8日(日)の2日間にわたり盛大に開催します。

イベントスケジュールは左表のとおり。伝統あるみこしや祇園山車巡行、だんべえ踊り、鼓笛パレード、和太鼓、八木節、民謡踊り、マンドリン演奏などが行われ、多くの町内会や企業、団体が参加します。詳しくは前橋観光コンベンション協会、前橋商工会議所ホームページをご覧ください。

| 10月7日(土) | | 10月8日(日) | |
|-------------------------|------------------|------------------------|------------------|
| イベント名 | 時間 | イベント名 | 時間 |
| オープニングセレモニー (立川町大通り) | 10:00 | オープニングイベント (立川町大通り) | 10:00 |
| イベントステージ (前橋テルサ) | 10:10 | イベントステージ (前橋テルサ) | 10:00 |
| 子どもだんべえ踊り (立川町大通り) | ①10:35 ②12:50 | 文化交流広場 (にこにこパーキング) | 11:00 |
| 文化交流広場 (にこにこパーキング) | 11:00 | 鼓笛パレード (中心市街地) | ①11:05 ②13:05 |
| 鼓笛パレード (中心市街地) | ①11:05 ②13:15 | 和太鼓 (立川町大通り) | 11:55 |
| マンドリン演奏 (立川町大通り) | 11:45 | 吹奏楽演奏会 (国道50号本町通り) | 12:15 |
| 和太鼓 (立川町大通り) | 12:10 | 八木節踊り (立川町大通り) | 12:25 |
| 吹奏楽演奏会 (国道50号本町通り) | 12:15 | 前橋だんべえ踊り (立川町大通り) | ①13:50 ②15:50 |
| 民謡踊り (立川町大通り) | 14:00 | 祇園山車と子どもみこし (中心市街地) | 14:30 |
| 祇園山車と子どもみこし (中心市街地) | 14:40 | 大人みこし (中心市街地) | 17:50 |
| 前橋だんべえ踊り (立川町大通り) | 15:30 | | |
| 大人みこし (中心市街地) | 18:00 | | |

また、会場の様子は、まえばしCITYエフエム(84.5MHz)で午前10時から午後9時まで実況中継。駐車場情報も随時放送します。

● 中心市街地は交通規制

期間中は午前10時から午後9時まで中心市街地で交通規制を実施。午前11時から午後2時30分までは国道50号本町通りも交通規制を実施します。

● 無料駐車場とおまつりバス

祭り当日は総合福祉会館やけきウォーク前橋(文京町二丁目)、

県前橋合同庁舎駐車場(上細井町)を利用できます。また、無料おまつりバスが、県前橋合同庁舎から国道17号沿いの前橋テルサ前まで30分おきに運行します。

● 前橋文学館が無料に

10月7日(土)・8日(日)の前橋まつりの日と10月28日(土)の県民の日は、常設展と特別企画展の観覧料が無料になります。

運行時間 ①(7日) 午前9時15分～午後9時15分(8日) 午前9時45分～午後9時15分

市子ども会のみこしを担ごう

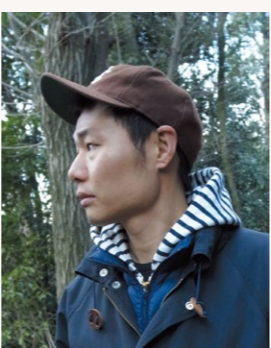
● 青少年課 ☎027-898-5874

前橋まつりでの子どもみこしの担ぎ手を募集。専用の法被も用意します。まちなかを練り歩き、お祭りを盛り上げます。対象は小学生、先着30人。参加希望者は、10月7日(土)午後1時30分に、弁天通り・大蓮寺前(千代田町三丁目)へ集合してください。

萩原朔太郎賞が決定

岡本啓さんの詩集『絶景ノート』

● 前橋文学館 ☎027-235-8011



いまこの時にしか書けない詩集です。ここから嬉しく思います。受賞の報せをうけ、鴨川をこうして眺めながら、つぎの未知の詩を見つけなさいと、つよく背中を押されたように感じています。

岡本 啓さんプロフィール
昭和58年生まれ、宮城県出身、京都市在住。平成27年、初めての詩集『グラフィティ』で中原中也賞、H氏賞を受賞。

第25回萩原朔太郎賞は最終候補作品6点の中から、岡本啓さんの詩集『絶景ノート』(思潮社)に決まりました。選考委員は詩人の佐々木幹郎さん、建昌哲さん、松浦寿輝さん、吉増剛造さん、文芸評論家の三浦雅士さんの5人です。受賞作は東南アジアの旅などをテーマとした詩集で、9月4日に行われた選考会議では「見慣れている言葉が異質なものになってい

ます。そういうことの連続で、大変若々しく初々しい詩集です」と高く評価されました。

● その他の最終候補(刊行順) ①『その路地をぬけて』岩阪恵子さん(思潮社)、②『夏の花』河津聖恵さん(思潮社)、③『放浪彗星通信』高柳誠さん(書肆山田)、④『具現』貞久秀紀さん(思潮社)、⑤『美しい小弓を持って』藤井貞和さん(思潮社)

● 贈呈式と記念イベント

賞の贈呈や選考経過説明のほか、受賞者の岡本さんによる記念講演などを行います。

日時 11月25日(土)午後1時
会場 前橋文学館
対象 一般、先着80人
申し込み 10月14日(土)から同館へ

前橋四公教養講座

前橋を治めた四藩主を発信するこの講座。最終回は、総社秋元公歴史まつりのイベントとして開催。館林市市史編纂センターの岡屋紀子さんが、今なお総社住民から愛される秋元越中守家について話します。

日時=11月4日(土)午後1時30分～2時30分
会場=総社市民サービスセンター
対象=一般、先着100人
申し込み=10月27日(金)までに文化国際課☎027-898-6992へ

